



## 実験の制約 2 (時間的、空間的問題の克服)

1. 時間がかかる実験 = 24時間、週間、年間
2. 広域の実験 = グループで行う = 雲の高さ、温度分布、現象の推移

### 分析考

- ・ L M T と単位系
- ・ 2面性 = 現象を物理量から描き求める、  
現象の性質・物理量を計測すること自体がひとつの  
自然の性質の利用であり、ミニ自然現象がそこにあることとなる。
- ・ 現象の形の表現だけで満足、現象の因果関係の再現 = サイエンス、
- ・ 自然の原理を如何に再現するか、できるか。
- ・ 理論、計算、概算、見当付け、パソコンの活用